

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月28日

上場会社名	積水化学工業株式会社	上場取引所 東
コード番号	4204 URL https://www.sekisui.co.jp	
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 加藤 敬太
問合せ先責任者	(役職名) 取締役専務執行役員	(氏名) 上脇 太
四半期報告書提出予定日	2021年2月8日	TEL (03) 6748-6467
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有	配当支払開始予定日
四半期決算説明会開催の有無	: 有	-

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	756,422	△8.1	39,876	△31.5	33,830	△43.2	20,656	△48.5
2020年3月期第3四半期	823,307	△0.7	58,197	△2.2	59,534	0.4	40,090	△4.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 41,159 百万円 (△20.3%) 2020年3月期第3四半期 51,657 百万円 (93.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	45.60	—
2020年3月期第3四半期	87.08	87.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,142,374	642,207	53.9
2020年3月期	1,105,781	634,219	55.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 615,812 百万円 2020年3月期 609,253 百万円

(注) 当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2021年3月期	—	23.00	—		
2021年3月期(予想)				24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	1,057,400 △6.4	70,000 △20.4	63,000 △27.8	43,500 △26.5	96.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	476,507,285 株	2020年3月期	484,507,285 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	27,570,752 株	2020年3月期	27,712,523 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	452,954,646 株	2020年3月期3Q	460,394,749 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2020年10月26日に公表いたしました連結業績予想は、通期について本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10
3. 参考資料	12
(参考資料 ー 1) 2021年3月期 第3四半期連結累計期間実績	12
(参考資料 ー 2) 2021年3月期 通期見通し	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①全社の概況(2020年4月1日～12月31日)

売上高7,564億円(前年同期比△8.1%)、営業利益398億円(前年同期比△31.5%)、
経常利益338億円(前年同期比△43.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益206億円
(前年同期比△48.5%)

当第3四半期連結累計期間は、COVID-19の影響による国内外の自動車・航空機の需要低迷、工事停止・遅延、国内の新設住宅着工数の減少、営業活動の制限などの影響により、減収・各段階利益の減益となりましたが、固定費削減と構造改革の取り組みを前倒しで推進しました。

経常利益は、為替差損や雑支出の増加などが影響しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年に投資有価証券売却益の計上があったことなどが前年同期比に影響しました。

当第3四半期連結会計期間は、自動車、エレクトロニクスなどの市況が一定程度回復する中、高機能品の拡販と固定費削減により売上高は前年同期並みを確保し、営業増益となりました。

②事業セグメント別概況(2020年4月1日～12月31日)

【住宅カンパニー】

売上高3,444億円(前年同期比△7.0%)、営業利益166億円(前年同期比△26.0%)

当第3四半期連結累計期間は、期初受注残の減少に加え、COVID-19の影響で受注が減少したことにより、減収・減益となりました。

新築住宅事業の受注については、COVID-19の感染拡大下、WEB集客やオンライン商談を推進しましたが、展示場来場を中心とした集客が減少したことにより、前年同期を下回りました。建売住宅の受注は好調で前年同期を上回って推移しました。リフォーム事業については、お客様との接触機会の減少により、売上高が前年同期を下回りました。

施策面については、新築住宅事業では、10月に発売した「スマートパワーステーションFR GREEN MODEL」によりエネルギー自給自足の訴求を図るとともに、堅調な分譲住宅の拡販に向け、土地・建売在庫の拡充に努めました。リフォーム事業では、定期診断専任担当者の設置などの体制整備を進めるとともに、受注残管理強化による施工・売上の平準化を推進しました。

当第3四半期連結会計期間は、受注に回復の傾向が見られた中、売上平準化の効果もあり、増収・前年同期並みの営業利益となりました。

【環境・ライフラインカンパニー】

売上高1,469億円(前年同期比△14.2%)、営業利益56億円(前年同期比△38.7%)

当第3四半期連結累計期間は、業務効率化、固定費削減の取り組みを徹底しましたが、海外でのCOVID-19影響による物件の遅延・延期の影響や、国内における非住宅建築関連の市況が低調であったことなどにより、減収・減益となりました。

配管・インフラ分野では、戸建向け製品が回復基調であったことに加え、公共・プラント向けが堅調でしたが、国内建築関連(非住宅施設)製品や、海外向けの需要が低調で、売上高は前年同期を下回りました。

建築・住環境分野では、戸建・リフォーム向けが回復基調でしたが、構造改革の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

機能材料分野では、国内の合成木材（まくらぎ・水処理関連用途）の需要が堅調で、米国の成形用プラスチックシートは、医療機器向けを中心に新用途への展開が進捗しましたが、航空機向けの需要低迷に加え、構造改革の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

当第3四半期連結会計期間は、国内の公共工事向け需要が堅調、戸建向け需要も回復基調でしたが、海外の航空機向け成形用プラスチックシートの需要低迷により、減収・減益となりました。

【高機能プラスチックカンパニー】

売上高2,254億円（前年同期比△6.7%）、営業利益205億円（前年同期比△30.5%）

当第3四半期連結累計期間は、COVID-19の影響による需要の大幅な低迷により、減収・減益となりましたが、徹底したコスト削減策により利益確保に努めました。

エレクトロニクス分野では、モバイル端末の需要が回復基調にあり、基板・半導体、接合部材、放熱製品などの非液晶分野への拡販の取り組みが順調に進捗し、売上高は前年同期を上回りました。

モビリティ分野では、自動車および航空機の著しい需要減退により、売上高は前年同期を下回りましたが、第3四半期には自動車市況が一定程度回復し、高機能品の拡販が順調に進捗しました。

住インフラ材分野では、塩素化塩ビ（CPVC）樹脂の需要が第3四半期にグローバルで回復しましたが、第1四半期のロックダウン影響が大きく、売上高は前年同期を下回りました。

当第3四半期連結会計期間は、自動車、エレクトロニクスなどの市況が一定程度回復する中、高機能品の拡販とコスト削減により、増収・増益となりました。

【メディカル事業】

売上高515億円（前年同期比△1.6%）、営業利益48億円（前年同期比△26.8%）

当第3四半期連結累計期間は、COVID-19の影響により、減収・減益となりました。

主力の検査事業では、海外でのCOVID-19検査キットの拡販が順調に進捗したものの、国内の外来患者数減少などの影響により、売上高は前年同期を下回りました。

医療事業では、米国での創薬支援事業の受注減少により、売上高は前年同期を下回りました。

当第3四半期連結会計期間は、海外でのCOVID-19検査キットの販売が拡大し、増収・増益となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、主に高機能プラスチックカンパニーにおける販売数量増、為替が円高方向に推移した影響、土地売却益の計上などが見込まれることを勘案し、2020年10月26日に公表した予想数値を下表のとおり修正します。

		今回予想	2020年10月26日に公表した従来予想
売上高	百万円	1,057,400	1,053,600
営業利益	百万円	70,000	70,000
経常利益	百万円	63,000	69,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	43,500	43,500
1株当たり当期純利益	円・銭	96.90	96.27

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,819	85,067
受取手形	39,436	39,193
売掛金	134,688	122,932
有価証券	0	0
商品及び製品	73,744	77,095
分譲土地	50,580	54,799
仕掛品	56,554	66,789
原材料及び貯蔵品	36,311	35,449
前渡金	2,631	2,985
前払費用	5,237	4,824
短期貸付金	1,466	5
その他	15,789	22,158
貸倒引当金	△1,377	△1,214
流動資産合計	491,883	510,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104,206	116,561
機械装置及び運搬具（純額）	84,284	94,765
土地	79,708	81,192
リース資産（純額）	18,520	18,310
建設仮勘定	38,905	26,183
その他（純額）	11,624	11,600
有形固定資産合計	337,250	348,615
無形固定資産		
のれん	56,078	50,024
ソフトウェア	9,571	10,592
リース資産	135	136
その他	38,713	33,999
無形固定資産合計	104,498	94,753
投資その他の資産		
投資有価証券	140,862	161,513
長期貸付金	1,379	1,532
長期前払費用	1,394	1,626
退職給付に係る資産	125	174
繰延税金資産	16,536	12,558
その他	13,884	13,701
貸倒引当金	△2,034	△2,189
投資その他の資産合計	172,148	188,917
固定資産合計	613,897	632,285
資産合計	1,105,781	1,142,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	3,002	1,942
電子記録債務	26,859	25,326
買掛金	101,914	84,379
短期借入金	8,446	24,711
コマーシャル・ペーパー	28,000	22,000
1年内償還予定の社債	19	10
リース債務	4,694	4,500
未払費用	41,097	41,662
未払法人税等	11,855	8,077
賞与引当金	18,162	9,780
役員賞与引当金	275	190
完成工事補償引当金	1,382	1,391
株式給付引当金	166	117
前受金	42,180	47,375
その他	46,155	47,396
流動負債合計	334,212	318,865
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	22,368	70,428
リース債務	14,137	14,247
繰延税金負債	7,777	5,648
退職給付に係る負債	47,170	44,758
株式給付引当金	479	599
その他	5,416	5,618
固定負債合計	137,349	181,302
負債合計	471,562	500,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,002	100,002
資本剰余金	109,273	108,892
利益剰余金	433,266	420,315
自己株式	△44,139	△43,376
株主資本合計	598,403	585,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,463	42,458
繰延ヘッジ損益	△16	△30
土地再評価差額金	321	321
為替換算調整勘定	△8,499	△5,619
退職給付に係る調整累計額	△8,419	△7,153
その他の包括利益累計額合計	10,850	29,977
新株予約権	64	—
非支配株主持分	24,901	26,395
純資産合計	634,219	642,207
負債純資産合計	1,105,781	1,142,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	823,307	756,422
売上原価	557,051	520,489
売上総利益	266,256	235,932
販売費及び一般管理費	208,058	196,056
営業利益	58,197	39,876
営業外収益		
受取利息	856	332
受取配当金	4,272	4,119
持分法による投資利益	1,630	1,283
雑収入	2,383	2,046
営業外収益合計	9,142	7,782
営業外費用		
支払利息	556	616
売上割引	301	284
為替差損	254	2,944
雑支出	6,692	9,983
営業外費用合計	7,806	13,828
経常利益	59,534	33,830
特別利益		
投資有価証券売却益	5,201	—
特別利益合計	5,201	—
特別損失		
減損損失	2,164	2,097
投資有価証券評価損	2,888	—
固定資産除売却損	1,713	1,054
特別損失合計	6,766	3,151
税金等調整前四半期純利益	57,969	30,678
法人税等	16,492	8,936
四半期純利益	41,476	21,742
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,386	1,085
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,090	20,656

(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	266,792	266,381
売上原価	179,933	182,319
売上総利益	86,858	84,061
販売費及び一般管理費	70,158	66,588
営業利益	16,700	17,472
営業外収益		
受取利息	340	102
受取配当金	354	416
持分法による投資利益	208	238
為替差益	953	—
雑収入	1,174	814
営業外収益合計	3,031	1,572
営業外費用		
支払利息	184	192
売上割引	104	100
為替差損	—	1,484
雑支出	2,031	4,108
営業外費用合計	2,320	5,886
経常利益	17,411	13,159
特別利益		
投資有価証券売却益	99	—
特別利益合計	99	—
特別損失		
減損損失	—	1,726
固定資産除売却損	705	201
特別損失合計	705	1,928
税金等調整前四半期純利益	16,805	11,230
法人税等	5,849	3,218
四半期純利益	10,956	8,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	499	387
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,457	7,624

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	41,476	21,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,328	13,876
繰延ヘッジ損益	29	△26
為替換算調整勘定	△1,660	3,158
退職給付に係る調整額	288	1,299
持分法適用会社に対する持分相当額	195	1,108
その他の包括利益合計	10,180	19,416
四半期包括利益	51,657	41,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,634	39,478
非支配株主に係る四半期包括利益	2,022	1,680

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	57,969	30,678
減価償却費	30,973	33,334
のれん償却額	2,025	3,316
減損損失	2,164	2,097
固定資産除却損	1,673	1,045
固定資産売却損益(△は益)	40	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,917	△2,255
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,201	—
投資有価証券評価損益(△は益)	2,888	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,094	△8,394
受取利息及び受取配当金	△5,128	△4,452
支払利息	858	900
持分法による投資損益(△は益)	△1,630	△1,283
売上債権の増減額(△は増加)	10,091	9,767
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,174	△17,592
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,805	△16,373
前受金の増減額(△は減少)	8,753	5,188
その他	△6,974	1,902
小計	56,511	37,890
利息及び配当金の受取額	5,891	4,479
利息の支払額	△913	△831
法人税等の支払額	△14,778	△14,526
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,711	27,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,612	△41,887
有形固定資産の売却による収入	1,307	608
定期預金の預入による支出	△4,539	△7,730
定期預金の払戻による収入	3,522	3,450
投資有価証券の取得による支出	△287	△506
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,972	837
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△54,377	—
子会社株式の取得による支出	△45	—
無形固定資産の取得による支出	△3,453	△4,534
短期貸付金の増減額(△は増加)	△1,505	14
その他	2,295	3,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,722	△45,772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	16,021	16,728
リース債務の返済による支出	△3,703	△3,892
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	15,000	△6,000
長期借入れによる収入	16,539	50,759
長期借入金の返済による支出	△1,672	△3,224
社債の発行による収入	30,000	—
社債の償還による支出	△8	△8
配当金の支払額	△21,308	△20,962
非支配株主への配当金の支払額	△1,114	△1,211
自己株式の取得による支出	△13,291	△12,199
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△6	△1,935
株式の発行による収入	—	2,632
その他	335	209
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,790	20,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	△660	1,630
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△880	3,765
現金及び現金同等物の期首残高	68,613	74,721
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,646	138
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,378	78,625

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I. 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	計
	住宅	環境・ ライフライン	高機能 プラスチック	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	344,366	137,705	220,777	51,533	754,382	2,039	756,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	107	9,227	4,704	0	14,039	105	14,144
計	344,473	146,933	225,481	51,533	768,422	2,144	770,566
セグメント利益又はセグメント損失(△)	16,600	5,676	20,588	4,848	47,713	△ 6,506	41,206

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルム型リチウムイオン電池および報告セグメントに含まれない製品の製造、販売およびサービスを行っております。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	47,713
「その他」の区分の利益	△ 6,506
セグメント間取引消去	352
全社費用(注)	△ 1,683
四半期連結損益計算書の営業利益	39,876

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

③地域に関する情報

売上高

(単位:百万円)

	日本	米国	欧州	アジア	その他	計
売上高	565,506	55,426	39,007	87,490	8,991	756,422

II. 当第3四半期連結会計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	計
	住宅	環境・ ライフライン	高機能 プラスチック	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	113,813	47,601	84,720	19,630	265,766	615	266,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	40	3,141	1,655	0	4,837	45	4,883
計	113,854	50,742	86,376	19,630	270,603	661	271,264
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,584	3,168	11,421	2,344	20,518	△ 2,340	18,178

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルム型リチウムイオン電池および報告セグメントに含まれない製品の製造、販売およびサービスを行っております。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,518
「その他」の区分の利益	△ 2,340
セグメント間取引消去	108
全社費用(注)	△ 814
四半期連結損益計算書の営業利益	17,472

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

③地域に関する情報

売上高

(単位:百万円)

	日本	米国	欧州	アジア	その他	計
売上高	192,704	21,648	14,406	34,057	3,563	266,381

3. 参考資料

(参考資料-1)2021年3月期 第3四半期連結累計期間実績

【ポイント】

- ・3Q(10月~12月)は、自動車、エレクトロニクスの市況が回復基調。固定費削減も寄与し、**全社営業増益転換**
- ・COVID-19感染拡大による上期の市況悪化の影響残るも、**固定費削減・構造改革を前倒して推進**

(1)全社業績

①2020年4月~12月の9ヶ月間

(億円、%)

	2021年3月期 1Q-3Q	2020年3月期 1Q-3Q	増減(率)
売上高	7,564	8,233	△ 668 (△ 8.1)
営業利益	398	581	△ 183 (△ 31.5)
経常利益	338	595	△ 257 (△ 43.2)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	206	400	△ 194 (△ 48.5)

②2020年10月~12月の3ヶ月間

(億円、%)

	2021年3月期 3Q	2020年3月期 3Q	増減(率)
売上高	2,663	2,667	△ 4 (△ 0.2)
営業利益	174	167	7 (4.6)
経常利益	131	174	△ 42 (△ 24.4)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	76	104	△ 28 (△ 27.1)

(2)事業セグメント別業績

①2020年4月~12月の9ヶ月間

(億円、%)

	2021年3月期1Q-3Q		2020年3月期1Q-3Q		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	3,444	166	3,702	224	△ 257 (△ 7.0)	△ 58 (△ 26.0)
環境・ライフライン	1,469	56	1,712	92	△ 243 (△ 14.2)	△ 35 (△ 38.7)
高機能プラスチック	2,254	205	2,416	296	△ 161 (△ 6.7)	△ 90 (△ 30.5)
メディカル	515	48	523	66	△ 8 (△ 1.6)	△ 17 (△ 26.8)
その他	21	△ 65	34	△ 75	△ 13 (△ 38.5)	10 (—)
消去又は全社	△ 141	△ 13	△ 156	△ 21	15 (—)	8 (—)
合計	7,564	398	8,233	581	△ 668 (△ 8.1)	△ 183 (△ 31.5)

②2020年10月~12月の3ヶ月間

(億円、%)

	2021年3月期3Q		2020年3月期3Q		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	1,138	35	1,133	38	5 (0.5)	△ 2 (△ 6.9)
環境・ライフライン	507	31	580	38	△ 73 (△ 12.6)	△ 6 (△ 17.1)
高機能プラスチック	863	114	811	98	51 (6.4)	15 (15.6)
メディカル	196	23	180	22	15 (8.6)	1 (5.7)
その他	6	△ 23	11	△ 22	△ 4 (△ 40.1)	△ 1 (—)
消去又は全社	△ 48	△ 7	△ 49	△ 8	0 (—)	1 (—)
合計	2,663	174	2,667	167	△ 4 (△ 0.2)	7 (4.6)

為替レート		2020年度		
		上期	3Q	4Q
US\$	想定	109	106	104
	実績	107	105	—
€	想定	121	126	126
	実績	121	125	—
		2019年度		
		上期	3Q	4Q
US\$	想定	109	106	109
	実績	109	109	109
€	想定	124	118	121
	実績	121	120	120

(3)全社概況

- ◆市況が想定以上に回復した高機能プラスチックは、高機能品の拡販と固定費削減により、3Qは戦略3分野とも増収・増益
- ◆住宅カンパニーは3Qの受注が回復基調、売上平準化も進捗し3Qの売上高は前年同期を上回る

(4)事業セグメント別概況(2020年4月~12月の9ヶ月間)

【住宅】

COVID-19影響(集客・受注減)により減収・減益も建売住宅は堅調。売上平準化・コスト削減は進捗

- ◆住宅事業
 - ・受注棟数は前年を下回るも3Q回復基調(前年同期比:3Q累計90%、同3Q97%)
 - ・大容量蓄電池を搭載した「スマートパワーステーションFR GREENMODEL」を発売(10月)
 - ・建売受注は好調に推移(前年同期比:3Q累計118%、同3Q127%)
 - ・分譲用土地・建売の在庫拡充(3Q末残高の前年同期比:土地108%、建売150%)
 - ・体感型ショールームの展開をさらに拡大(久留米、横浜、京都、和歌山、三河)、3Q末28ヶ所
- ◆リフォーム事業
 - ・売上高は前年を下回る(前年同期比:3Q累計89%、同3Q100%)
 - ・ファミエミュージアムの展開を加速(千葉、久留米)、3Q末15ヶ所

【環境・ライフライン】

国内は公共工事向け需要が堅調も、非住宅向け低調。海外は航空機向けシートの需要低迷、物件遅延で苦戦

- ◆配管・インフラ
 - ・戸建住宅は需要回復基調。公共工事は堅調も、建築関連(非住宅施設)は需要低調
 - ・プラント向け管材は、中国・韓国の装置プラント向け需要が堅調
- ◆建築・住環境
 - ・住宅着工数減の影響も、戸建・リフォーム向けは回復基調。重点拡大製品の販売が拡大し収益体質改善
- ◆機能材料
 - ・成形用プラスチックシートは航空機向け需要低迷。医療機器向けなど新用途展開を推進
 - ・合成木材は国内のまくらぎ・水処理用途の売上堅調も、海外の物件遅延の影響で苦戦
- ◆全分野共通
 - ・業務効率化による固定費削減、事業譲渡を含む構造改革を推進

【高機能プラスチック】

COVID-19により需要が大幅減退も、回復基調。戦略3分野の売上と固定費削減が順調に進捗、3Qは営業増益転換

- ◆エレクトロニクス
 - ・非液晶分野(5G・半導体関連)が順調に拡大、スマホ関連需要も回復
- ◆モビリティ
 - ・ヘッドアップディスプレイ向け中間膜を中心に高機能品の販売が拡大基調
 - ・航空機需要低迷を受け、AEROSPACE社の合理化施策を推進中
- ◆住インフラ材
 - ・塩素化塩ビ(CPVC)樹脂の販売がグローバルで回復

【メディカル】

海外はCOVID-19検査キットの需要が増加し堅調。国内はCOVID-19影響による外来患者数減少で検査事業が苦戦

(参考資料-2)2021年3月期 通期見通し
【見通し】

・COVID-19感染再拡大も、高付加価値品の拡販と固定費削減徹底により、下期営業増益へ

・営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益の計画達成、11期連続の増配へ

(1) 全社業績見通し

	①通期 (億円、%)			②下期(2020年10月～2021年3月) (億円、%)		
	2021年3月期見通し	2020年3月期実績	増減(率)	2021年3月期下期見通し	2020年3月期下期実績	増減(率)
売上高	10,574 [10,536]	11,292	△ 718 (△ 6.4)	5,673	5,727	△ 53 (△ 0.9)
営業利益	700 [700]	879	△ 179 (△ 20.4)	475	464	11 (2.4)
経常利益	630 [690]	872	△ 242 (△ 27.8)	423	450	△ 27 (△ 6.1)
親会社株主に帰属する当期純利益	435 [435]	591	△ 156 (△ 26.5)	304	295	9 (3.1)
1株当たり配当金(通期)	47円 [47円]	46円	1円			
同(第2四半期末)	23円 [23円]	23円	0円			
同(期末)	24円 [24円]	23円	1円			

注: []内は2020年10月26日公表の従来予想数値

(2) 事業セグメント別業績見通し

	①通期 (億円、%)					
	2021年3月期見通し		2020年3月期実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	4,890 [4,910]	310 [320]	5,129	377	△ 239 (△ 4.7)	△ 67 (△ 18.0)
環境・ライフライン	2,062 [2,089]	125 [140]	2,373	154	△ 311 (△ 13.1)	△ 29 (△ 19.0)
高機能プラスチック	3,042 [2,975]	289 [276]	3,224	373	△ 182 (△ 5.7)	△ 84 (△ 22.7)
メディカル	732 [714]	89 [89]	725	92	6 (0.8)	△ 3 (△ 3.3)
その他	41 [41]	△ 94 [△ 98]	49	△ 97	△ 8 (△ 17.5)	2 (—)
消去又は全社	△ 193 [△ 193]	△ 19 [△ 27]	△ 210	△ 21	17 (—)	2 (—)
合計	10,574 [10,536]	700 [700]	11,292	879	△ 718 (△ 6.4)	△ 179 (△ 20.4)

②下期(2020年10月～2021年3月)

	②下期(2020年10月～2021年3月) (億円、%)					
	2021年3月期下期見通し		2020年3月期下期実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	2,583 [2,603]	179 [189]	2,560	192	23 (0.9)	△ 12 (△ 6.4)
環境・ライフライン	1,100 [1,127]	100 [114]	1,241	100	△ 141 (△ 11.4)	0 (0.0)
高機能プラスチック	1,650 [1,583]	197 [186]	1,619	176	31 (1.9)	20 (11.9)
メディカル	412 [394]	63 [63]	383	47	29 (7.8)	16 (33.4)
その他	26 [26]	△ 52 [△ 56]	25	△ 44	0 (1.1)	△ 8 (—)
消去又は全社	△ 100 [△ 100]	△ 12 [△ 20]	△ 103	△ 8	2 (—)	△ 4 (—)
合計	5,673 [5,635]	475 [478]	5,727	464	△ 53 (△ 0.9)	11 (2.4)

(3) 全社施策(2021年1月～3月)

- ◆エレクトロニクス、自動車など回復基調の需要を着実に取り込み、次期以降の成長基盤を確立
- ◆COVID-19再拡大による市況悪化を見込む中、次期以降も見据えた徹底した固定費削減、構造改革による収益体質強化を完遂

(4) 事業セグメント別施策(2021年1月～3月)

【住宅】	COVID-19の影響で売上棟数減見込むも、体質強化、成長施策(営業戦力、商品戦略、土地戦略)による受注強化を継続
◆住宅事業	・WEB集客、オンライン商談を強化し、下期受注棟数は前年同期比97%(3Q97%、4Q98%)を計画 ・ファーストバイヤーを中心に自社土地付き分譲住宅の受注拡大。4Q受注棟数は前年同期比120%を計画
◆リフォーム事業	・下期の売上高は前年同期比106%(3Q100%、4Q112%)通期95%を計画 ・蓄電池・提案型商材(バス等)の拡販
◆まちづくり事業	・4Qから本格的に収益に貢献開始(「ハイムスイート朝霞」、「スマートハイムシティ東松山」)
【環境・ライフライン】	社会課題解決に資する高付加価値の重点拡大製品の拡販と固定費削減を推進
◆配管・インフラ	・インフラ老朽化対策、省人化に貢献する重点拡大製品の採用拡大と期中物件発掘に注力 ・持続的な生産基盤の構築。生産再編と自動化投資を推進
◆建築・住環境	・介護用ユニットバスなどの重点拡大製品の拡販に注力
◆機能材料	・成形用プラスチックシートは、航空機向けの需要回復は見込まず、医療機器向け中心に新用途の需要獲得に注力 ・合成木材は、国内のまくらぎ・水処理関連用途拡販に注力。欧州増産投資は計画通り実施
◆全分野共通	・業務効率化、固定費削減を推進
【高機能プラスチック】	高機能品の拡販で、回復基調の需要を着実に取り込むとともに固定費削減、構造改革を継続し、下期増益へ
◆エレクトロニクス	・半導体関連、放熱材料(主に5G向け)、接合部材などの非液晶分野での拡販に注力
◆モビリティ	・大幅に伸長しているヘッドアップディスプレイ用中間膜を中心とした高機能品の拡販に注力 ・航空機需要低迷の長期化を見据え、AEROSPACE社の合理化施策をさらに加速
◆住インフラ材	・不燃材料、耐火材料、断熱材料の拡販、塩素化塩ビ(CPVC)樹脂のグローバルでの拡販と収益力改善に注力
【メディカル】	検査事業は、海外におけるCOVID-19検査キットの安定供給と新製品投入強化。医療事業は新規原薬の出荷を開始